

令和4年10月31日
金沢工業大学 宮里
(元北陸SIP WG1主査)

自治体管理の道路に対する補修およびモニタリングに興味のある企業様

北陸地方の市町村が管理する道路に対する簡易維持管理方法に関する試験施工について 〔鉄筋コンクリート橋、鋼橋およびトンネルなどの補修とモニタリング〕

拝啓 晩秋の候、貴社いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

早速ですが、2014年度から北陸SIP (<https://sip-hokuriku.com/>) では、産官学連携のもと、北陸4県（新潟県の上越地方、富山県、石川県、および福井県）内の市町村の道路に対する維持管理の合理化を図ってきました。その一環として、北陸地方の道路に適する補修工法の精査に、富山市と協働しながら、取り組んでいます。コロナ禍で2年間ほど中止していましたが、今年度は3年度目の試行を実施します。例えば、1年度目には、鉄筋コンクリート橋における、上部工コンクリートの剥落（写真1）や橋台のひび割れ（写真2）を補修しました。このようなコンクリート橋の初期不具合やASRおよび塩害による劣化に対する簡易な補修が対象です。また今年度は、鋼橋、トンネル（地下道を含む）に加えて、各種の道路施設も含めます。さらに、補修工法のみならず、定期点検を補完・補間したり、補修効果を確認したりするモニタリング方法なども対象にします。これらの趣旨にご賛同を頂き、補修およびモニタリングを頂ける協力者を募集しております。

もしご興味を持たれたならば、11月21日(月)14～16時に富山市役所にご参集を頂き、富山市が管理する道路の中から、貴社が補修あるいはモニタリングするにふさわしい対象のマッチングを図ります。その後、渇水期である12月～3月の間に、施工を頂くこととなります。ご質問やご意見等がございましたら、何なりとお寄せして頂ければ幸いです。なお、試行を頂くことで、カタログや技術資料では伝えられない施工方法、補修効果やモニタリング精度などをアピールできる機会になると期待しております。

では、ご協力を頂ける企業におかれましては、11月16日(水)10時までに、補修やモニタリングの概要等の情報を、下記の竹澤へご連絡を頂ければ幸いです。特にご質問等がある場合には、早めのご連絡を頂ければ予め検討・調整させて頂きます。何れにしましても、今後ともご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具



写真1 上部工コンクリートの剥落部



写真2 橋台のひび割れ部

参加申込先・問合せ先

金沢工業大学 宮里研究室 竹澤

E-mail : takezawa.e@neptune.kanazawa-it.ac.jp

TEL : 076-274-7009 FAX : 076-274-7102